

会津短大 PR ツールのデザイン

A2200819 鈴木愛美・A2200822 高橋里美

研究概要

ターゲットを高校生・受験生に設定し、それらに向けた会津短大をビジュアル重視で PR するパンフレット及びポスターを編集・制作する。

研究目的

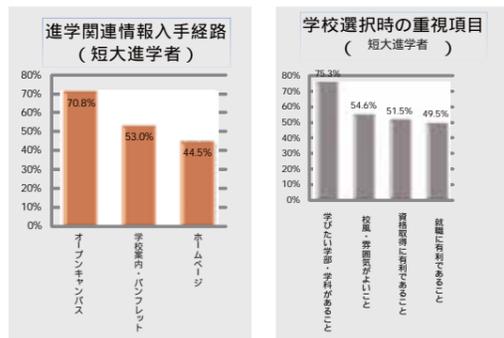
私たちは授業で、デザインはどの年代をターゲットにするかを考えアイデアを構築させていくことが重要であることを学び、そこで年代によって好みのデザインが違うことに興味を持った。それを考えていくうち、私たちの大学は現在の方法で果たして受験生に学校の魅力的な部分をしっかりアピールできているのだろうか？と疑問を感じた。受験生に会津短大をこれまで以上に認知し理解を深めてもらうのが目的である。

研究方法並びに経過

1. テーマ、目的の設定

2. 他校の事例調査

- ・高校生に好まれるデザインの調査
- ・事前にとってあったアンケートの集計結果や進学情報冊子からデータ収集、方向性の決定。



短大進学希望者が大学選択に重視している事柄や知りたい情報を理解することができた。これらを元に、受験者が知りたい情報を的確に且つ効果的に伝えられるパンフレットのデザインを考えていく。

3. パンフレットの構成の決定

- ・内容の決定
 - ・数名の学生に焦点をあて、生活の様子を特集する(ゼミ活動やサークル、バイトなど)
 - ・寮や下宿、アパートなど一人暮らしの様子を検証する
 - ・生活費や家賃の金額などを載せる
 - ・会津若松を紹介する
 - ・学生に将来の夢や短大のイメージといった質問に答えてもらう
- 全ページ共通して写真をできるだけ多く使い、視覚から伝えるものを多くする

4. 決定内容、制作の方向性を広報委員会にてプレゼンテーション



5. 制作活動

- ・冊子に使う写真の撮影
- ・学生のデータ収集
- ・寮、下宿などの情報収集
- ・アンケート結果のまとめ
- ・ポスターの制作

6. パンフレット、ポスター完成。製本

結果

学生に焦点を当てた、受験生向けのPRツールが完成した。タイトルは会津短大の学生生活等、内面ももっと見てほしいということで、「Look! 学生生活」とした。



・学生紹介
各学科、コースから一人の学生に焦点をあて、ゼミやサークルの様子を紹介する。この冊子を見た高校生に会津短大に入りたい!と思ってもらえるような内容を意識した。



・一人暮らし検証
オープンキャンパスに来る高校生や保護者から、一人暮らしの様子を知りたいという意見があったので制作した。生活費のデータなど細かく記載した。



・学生図鑑
学生に質問をし、その答えをそれぞれスケッチブックに書いてもらった。

考察

今回高校生に向けたPRツールということで、文字よりも写真を多く使ったデザインにした。配色も原色を多く使い、明るくポップなイメージに仕上がった。この冊子は00部印刷され、各高校やオープンキャンパスなどで配布される予定である。今現在配布されている会津短大のパンフレットとはまったく別の内容となっており、アンケートなどの結果知りたいという声のあった内容が多く入っている。この冊子を配布したことによる会津短大の知名度の向上や高校生からの反応を期待したい。